



にこにこだより

令和8年1月28日

垂井町立岩手こども園

子どもたちの笑顔と「あけまして おめでとうございます」の元気な挨拶で、新しい年が始まりました。今年も1年、子どもたちと元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

本年も皆様の温かい見守りやご支援、よろしく願いいたします。

新聞紙遊び

やった～！迷路ができた

校長先生、遊びに来てください



5歳児が新聞紙を使って、迷路を作りました。新聞紙を紐に貼りながら「ここ、持ってくれる？」「一緒に貼ろう」と声をかけ合ったり、「スタートとゴールを書くといいよね」「絵を描いて、見つけてもらおう」など思いを出し合ったりと1ヶ月近くかけて協力して作った大作です。一生懸命作った迷路ができあがり、大喜びの子どもたち。「いろいろな人に迷路で遊んでほしい」とご家族、岩手小学校の校長先生や1年生、園の友達、府中こども園の5歳児を招待しました。「ここ、私が作ったよ」と話す姿からは、できた喜びや遊んでもらえた嬉しさが溢れていました。



迷路で遊んだ後は、みんなでその新聞紙を使って遊びました。たくさんの新聞紙に大興奮の子どもたち。新聞紙を腕いっぱい抱えて降らせたり、集めた新聞紙の上に寝転んだり、中に隠れたりといろいろな遊び方を楽しんでいました。

5年生との交流



5歳児が岩手小学校5年生と交流をしました。サーキット遊びでは平均台やフラフープ、マット、跳び箱などいろいろな小学校の器具が並んでいて、子どもたちはワクワク、ドキドキ。手を繋いで支えてもらいながら平均台を渡ったり「上手だね」「大縄、跳べたね」と声をかけてもらったりしていました。その後は手作りのパズルで遊びました。「お兄さんが作ったんだって」と驚き、完成させようと真剣な表情で遊んでいた子どもたち。できあがると拍手をしてもらい、照れていました。5年生の優しさをたくさんもらい、また会える日が楽しみになりました。

雪遊び



『早く雪で遊びたい』とウズウズしていた子どもたち。園庭に出ると雪の上で寝転んだり、雪合戦をしたりしました。また雪玉を転がし「口は何にしようかな？」とパーツになる材料を探して雪だるまの完成！かまくら作りでは大きなスコップを手に何度も雪を運んだり固めたりして、『かまくらの中に入りたい』と一生懸命になって作っていました。冬ならではの遊びを思いきり楽しんだ子どもたちでした。

巡回バスの車内掲示の作品作り



5歳児が折り紙や画用紙、絵の具を使って、雪だるまや雪の結晶を作りました。巡回バスに飾られることを伝えると「バスに飾るのー！」と驚いていた子どもたち。作った作品は2月から巡回バスに掲示されます。ご乗車の際は、ぜひご覧ください。